

## 令和4年（2022年）の八丈島の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

### ○噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2022年の発表履歴

2022年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

### ○ 2022年の活動概況

#### ・ 噴気など表面現象の状況（図1）

楊梅ヶ原<sup>ようめがはら</sup>監視カメラ（西山山頂の南南東約5km）による観測では、西山山頂部に噴気は認められませんでした。

#### ・ 地震や微動の発生状況（図2-①②、図3）

火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

#### ・ 地殻変動の状況（図2-③、図4、図5）

GNSS連続観測及び傾斜計による観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧できます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

本資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、『数値地図50mメッシュ（標高）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を使用しています。



図1 八丈島 山頂部の状況 (12月9日 楊梅ヶ原監視カメラによる)

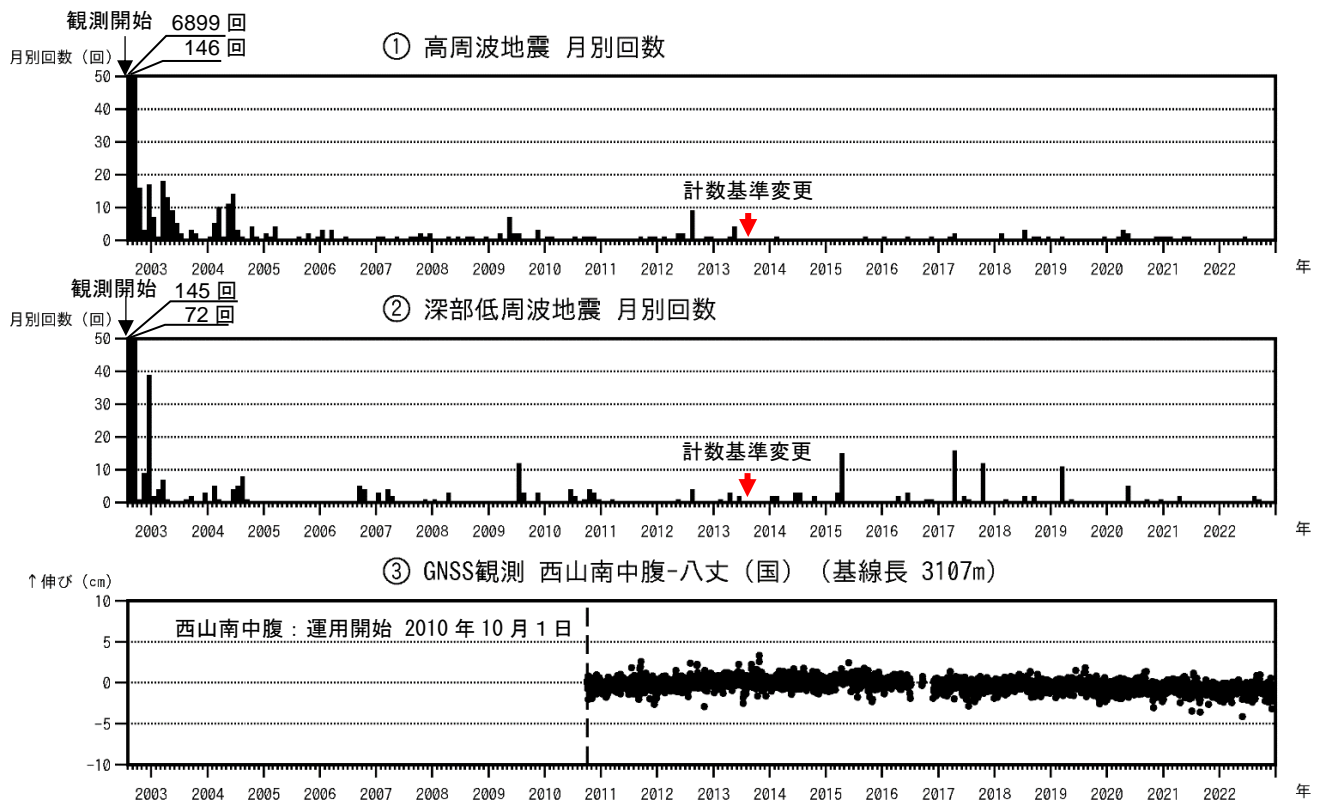


図2 八丈島 火山活動経過図 (2002年8月13日～2022年12月31日)

- ①、② 地震回数の計数基準は以下のとおり  
 2013年8月31日まで八丈島三根 振幅  $5 \mu\text{m/s}$  以上、S-P時間3秒以内  
 2013年9月1日 から西山南東山麓 振幅  $2 \mu\text{m/s}$  以上、S-P時間3秒以内
- ③ (国) : 国土地理院、図5の基線③に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

- ・地震活動は静穏な状態で経過しました。
- ・GNSS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

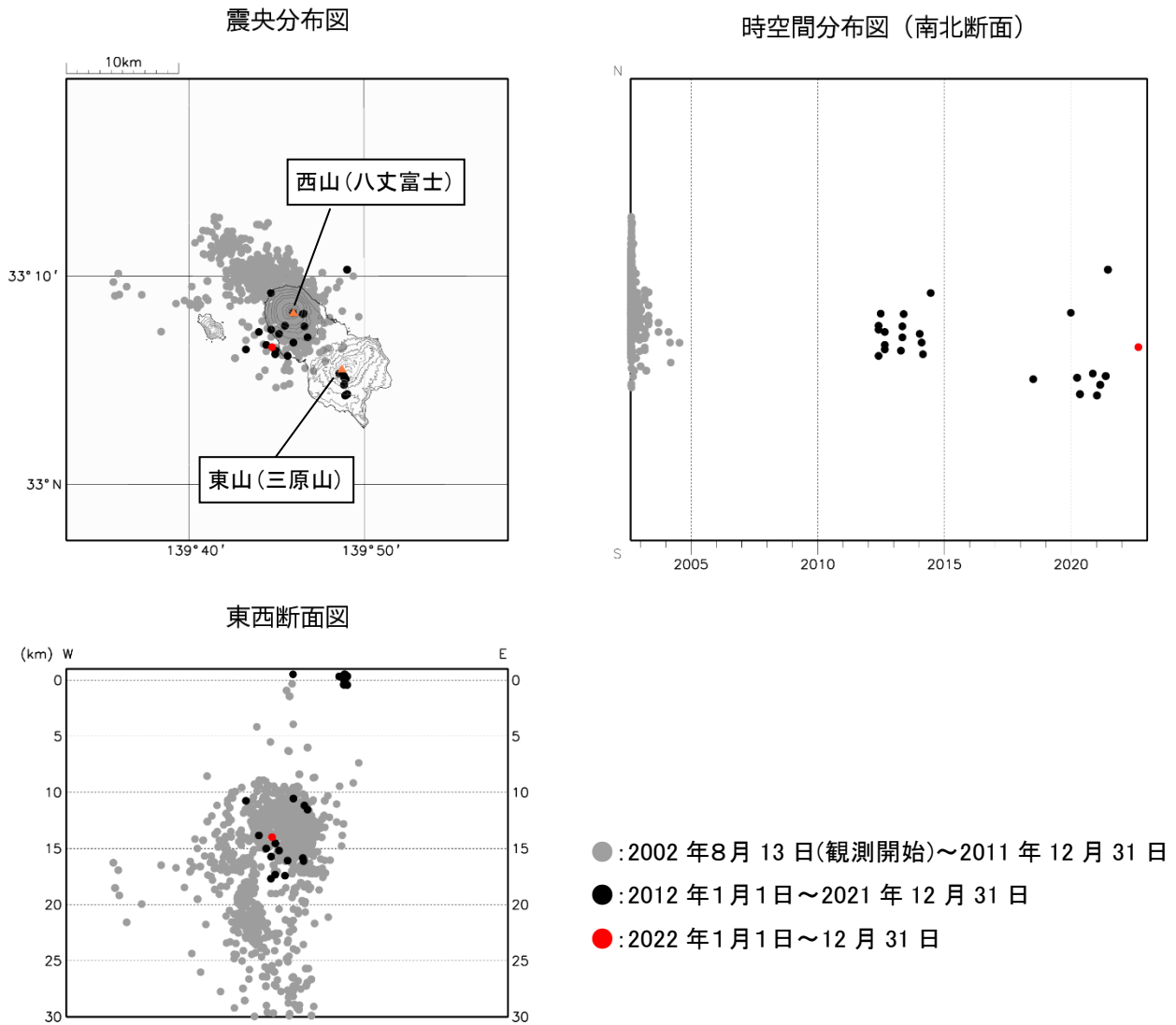


図3 八丈島 震源分布図（2002年8月13日～2022年12月31日）

- ・今期間、震源が求まった火山性地震の震源は、西山（八丈富士）の南西約3km、深さ14km付近でした。

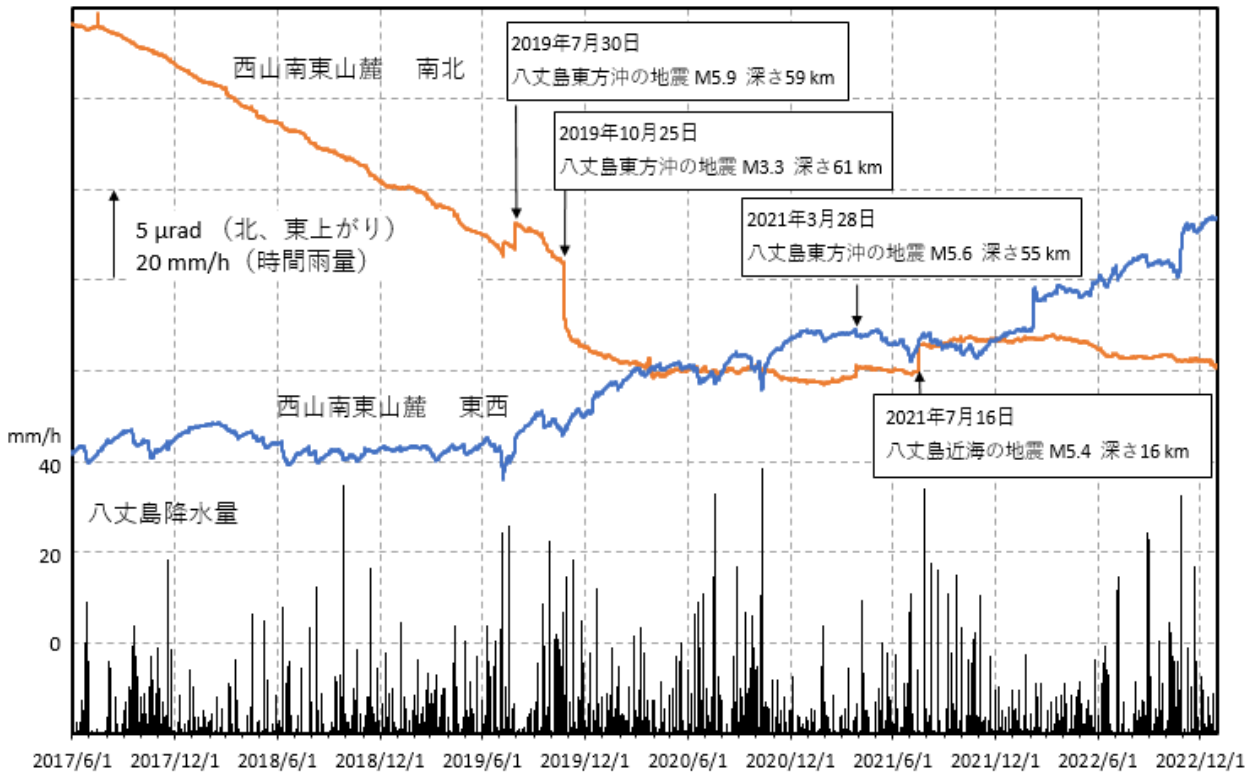


図4 八丈島 西山南東山麓観測点の傾斜変動 (2017年6月1日~2022年12月31日)

・火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

